



IT時代のメディア産業共通のプログラム

第33期

DTPエキスパート認証試験

開催のご案内 2010.3.14

東京・大阪・名古屋・福岡

JAGAT（社団法人日本印刷技術協会）は、「よい制作物」「よい制作環境」「よいコミュニケーション」そして「高いパフォーマンス」の4つをキーワードに、印刷・製版の基礎知識、DTPの知識、コンピュータの知識を体系立てて「DTPエキスパートカリキュラム」を編成して参りました。このカリキュラムを修得することが、IT時代にメディア産業に携わる方々の共通の教育基準と考えています。

印刷発注において、著作権問題や企業のコンプライアンス、知的財産権や個人情報保護法の重要性が増してきました。またDTPでは今後、RGBデータの総合的活用やテキストデータの合理的利用が広がり、制作から印刷まで一貫したワークフローを考慮して、品質検査や検版を自動化したり、リモートで行うことの重要性が増してくると思われまます。これらのことをふまえ、2008年12月に「DTPエキスパートカリキュラム第8版」※1を発表いたしました。

DTPエキスパートの役割は多様化し、責任はますます大きくなっていきますが、DTPエキスパートの基本は、もともと印刷物を何のために作るかとしていたのかを探り、よい印刷物とはどういうものかを理解し、それを最も効率よく作り出す制作環境を計画できる能力を身につけることです。したがって、DTPエキスパート認証試験は、DTP制作の現場のみならず、営業や企画部門に至るまで幅広い職種の方々が対象となります。1994年3月に第1期の試験を開催して以来、通算の受験者は4万5千人を突破し、合格者も既に1万9千人を超えて、わが国のDTPの運用・管理の中核的存在として各方面で活躍されています。

（※1：DTPエキスパートカリキュラムは、現実のDTP環境の変化を踏まえて2年毎に見直しをしております。今期は第8版（2008年/12月発行）に準拠して筆記試験を実施いたします。）

資料請求・お問い合わせ

試験制度に関するお問い合わせ、パンフレット、「受験申請書」などの資料請求は下記までどうぞ。
※「DTPエキスパートカリキュラム」をご希望の方は、1冊480円分の切手を同封してご請求ください。

〒166-8539 東京都杉並区和田1-29-11
社団法人 日本印刷技術協会
DTPエキスパート認証・登録事務局
TEL: (03) 3384-3115 FAX: (03) 3384-3168

★最新情報は、JAGATホームページにてご覧ください
<http://www.jagat.jp/dtp/>

受験申請受付開始

第33期のDTPエキスパート認証試験は、2010年3月14日（日）に東京・大阪・名古屋・福岡会場および指定講座会場において開催いたします。

試験形式は筆記試験および課題制作。

受験申請は、2010年1月14日（木）～2月15日（月）まで申請専用窓口で受付いたします。

試験概要

- ◆主催：（社）日本印刷技術協会
- ◆後援：（社）日本印刷産業連合会
- ◆試験日：2010年3月14日（日）
- ◆時間：筆記試験 13:00～17:40（予定）
- ◆会場：○東京会場 青山学院大学（渋谷区）
○大阪会場 天満研修センター（大阪市北区）
○名古屋会場 名古屋情報メディア専門学校（名古屋市中熱田区）
○福岡会場 KCS福岡情報専門学校（福岡市中央区）
○指定講座会場（JAGAT指定の教育機関・企業の校舎）
- ◆対象：DTPに関心のある方ならその資格、経験は問いません
- ◆試験形式：筆記試験 マークシート方式（出題範囲は「DTPエキスパートカリキュラム第8版」+新出題項目）
課題制作 試験当日に配布される要項に記載されたWEBサイトから課題材料をダウンロードし、3週間以内に作品と制作指示書を提出する。
- ◆受験料：20,000円（税込）
- ◆申請方法：「受験申請書」の指示に従って、専用の窓口宛て手続きを行ってください
会社単位で申請でき、結果のレポートが受け取れる、企業受験のシステムもあります

試験会場について

試験会場は、東京・大阪・名古屋・福岡以外にも指定講座会場が全国各地にあります（32期実績19カ所）。指定講座会場はJAGATより指定を受けた企業・教育機関が実施する受験対策講座を受講した方がその受講校舎で受験できるシステムで、受験者にとっては適切な指導が受けられるとともに最寄りの会場を選択できるメリットがあります。

（JAGATホームページ「勉強の機会」参照）

直前模擬試験について

2010年2月13日（土）に東京・大阪にて第33期直前模擬試験を実施します。

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。